

輝いて明日へ

2025. 4. 25

誰にも優しい
地域社会をつくります

社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会
理事長 田部井 眞

社会福祉法人が向かう先

私たちは、総合支援法の枠の中で様々な福祉サービスを提供しています。500 名を超える方々に利用していただいています。社会福祉法人はさらに通常の福祉サービス以外に地域貢献をするように義務づけられています。

当法人では、地域の3 法人と共同で買い物バスの運行を始め 4 年目となります。地域の方から暖かいお言葉をいただいています。一つの地域貢献の形です。地域から必要とされる社会福祉法人としての役割を果たすことができています。

地域には様々な課題があり、行政がサービスを提供しにくい課題や民間の事業者では採算が合わず実施できない課題などがあります。そのような困りごとを社会福祉法人が持っている力で解決していくことが、さらに求められています。

社会福祉法人も経営体です。大きく赤字を出すような地域貢献は現状では難しく、少しの負担で解決できる課題が当面の社会貢献のターゲットとなります。現在実施している買い物サービスの延長線上で通院を支援するサービスは行いやすいのではと考えています。

通院は、様々な病院へ通院されています。また、予約時間も同じというわけではありません。地域の移動困難者に対応することは、大変ですが少しずつ実施することはできるのではないかと思います。例えば、当初は病院を限定し、利用者も予約する曜日も合わせることができれば、無駄なく実施できるのではないかと思います。もちろん、担当の Dr の診察日がありますが、利用したいのであればバスの運行に合わせて変更できれば利用ができます。診察終了の時間もまちまちだし、薬ももらうと考えると帰りの時間を合わすことはより難しいと思います。往路だけでも利用できれば負担の軽減になるのではないのでしょうか。できない理由を考える前に、どうしたらできるかを地域全体で考えることが重要です。良いアイデアがありましたら教えてください。

日常の困りごとを解決するために、地域で気軽に話し合いができると、誰にも優しい地域社会になりませんか。

ご挨拶

波乱に満ちた２０２４年度が終わりました。

２０２４年度は中核職員の退職や大きな車両事故、ご利用者支援に係る諸々の出来事等が生じ、対応に追われることの多い落ち着いた一年でした。

一方、コロナ禍で中止していた花の家祭りを６年ぶりに再開し、大勢の地域の方々にお越しいただき盛況のうちに終えることができたのも記憶に新しいところです。

反省するところも多かった２０２４年度でしたが、年度後半からはいろいろな点で良い方向に進んできていると考えています。

２０２５年度はそのような流れを一層強化し、更により質の高い支援の提供を目指して職員一丸となって取り組んでまいりたいと思います。

引き続き、ご支援ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

(畠山 史郎)

入所式

２０２５年４月１日（火）今年も花の家とクッカ広場では、入所式が行われました。

当日はあいにくの雨でしたが、多くの来賓の方、ご利用者が勢揃いし素敵な晴れ舞台となりました。

今年度の入所者はＦグループに石井さやか様（いしいさやか様）、Ｄグループにお一人、クッカ広場に矢下博久様（やしたひろひさ様）の計３名が入所されました。

入所式前はとても緊張された様子でしたが、式が進むにつれ徐々にリラックスされ、花の家・クッカ広場のご利用者からお花を渡す場面では、笑顔が見られていました。式の最後に「みんなの笑顔」が流れると、花の家ご利用者・支援者が一体となり、新規入所者の３名を迎え入れることができました。これから、ワクワク・ドキドキすることをたくさん感じて、楽しんで花の家・クッカ広場の生活を過ごしていただければと思います。

(宮本 翔)



職員挨拶

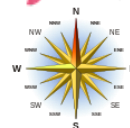
４月より花の家の副施設長となりました齋藤雅信です。

昨年度までは花の家の支援主任として、ご利用者の支援を中心に従事してまいりましたが、今後、副施設長としてどのような働き方をすれば良いか、今はまだ手探りの状態です。

ただ、ご利用者が笑顔で豊かになれるような働き方を一番に考え、自分に出来ることを精一杯行いたいと思っています。

また、ご利用者の笑顔のためには職員が働きやすい環境というのもとても大事だと思っていますので、ご利用者、職員双方がより良い気持ちで花の家に来られるよう、自分の役割をしっかりと考えて実践していく所存です。不慣れなことも多くご迷惑をお掛けすると思いますが、よろしくお願い致します。





職員挨拶

4月より相談支援事業「かけはし」の相談員となりました廣瀧朋美です。「花の郷」で2年、「花の家」で12年支援員として所属しており、ご利用者の皆さんと毎日楽しく過ごしていました。その支援員として過ごしている中で、「相談支援」に向けての研修を昨年度受講しました。研修では、視野を広く持ち・見て・考えることが大事だと教えていただきました。まだまだ未熟で知識も少ない自分ですが、広い視野を持ち色々な面から物事を考えていけたらと思っています。支援員の頃の経験と新しい経験を共に活かして、それぞれのご利用者に寄り添ったサービスの提供へと繋げていけたらと思っています。どうぞこれからよろしくお願いいたします。



就労継続支援B型 クッカ広場



新規ご利用者紹介



矢下博久様



町田の丘学園を卒業され、今年度より通所されることになりました。

学生時代は陸上競技に打ち込み、走り幅跳びでは部門別で記録保持者だったそうです。

昨年度、クッカ広場で実習を楽しく行うことができ、「クッカ広場で仕事を行いたい！」とのお気持ちから入所を決めていただきました。

入所前からご自宅で「いらっしゃいませ！」と店員としての練習を行うなどやる気に満ち溢れています。

学校を卒業され、これからは社会人としての経験をたくさん積み重ねられていくことと思います。先輩から多くのことを学んでいただき、その力をいかに発揮していただきたいと思います。

(藤見 俊輔)



職員挨拶



こんにちは。4月よりクッカと一緒に働かせて頂く植村友美(うえむらともみ)です。2020年度入社で、花の家のGグループで働いていたので、散歩等で顔は見たことあるかもしれません。

簡単に自己紹介をさせてください。出身は神奈川県の大和市です。江ノ島が近いので今でも月に1度ほど遊びに行ってます。結婚してからは神奈川県の大和市に住んでいます。南町田のグランベリーパークが近いです。家族は4人家族で夫と娘が4歳と1歳の2人、そして犬(ポメラニアン)を飼っています。毎日とても賑やかです。

趣味はランニングと旅行です。ランニングは中学生からずっと陸上部で続けており、社会人になってから今まで陸上のクラブチームに所属しています。2月にハーフマラソンにも出場をしました。同じ趣味の方がいたら声をかけてくれたら嬉しいです。

今からクッカ広場で皆さんと一緒に働ける日々をととても楽しみにしています。

これからよろしくお願いいたします。



❀ 花の郷入所式 ❀

令和7年4月1日（火）花の郷1階ホールにて、入所式が行われました。

天気は生憎の雨・・・そして肌寒い日でしたが、その寒さと天候も吹き飛ばすくらいに会場は暖かい空気に包まれました。新しい本年度の入所者はEグループに吉野花恋様（よしのかれん様）が入所されました。

本年度の入所式は久しぶりにご利用者、職員全員が1階ホールに集まり職員一人ひとりからの自己紹介、お祝いの言葉、町田の丘学園の先生からお祝いの言葉と、全員での歌などで暖かくお迎え、素敵な門出となりました。

これから新しいスタートとなりますが、良い思い出を職員と先輩の仲間たちとたくさん作り、楽しい毎日を過ごしていきましょう。
(Aグループ 白澤)



新規ご利用者紹介

吉野花恋様



入所式は、とても緊張しました。

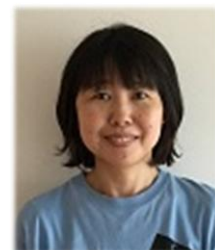
まだまだ毎日緊張しますが、早く慣れてたくさん楽しい活動に参加したいです。



職員挨拶

つい先日までは町田市民プール前の桜吹雪を浴びながら花の家までバイク通勤をしていましたが、今年度から花の郷へ異動となりました小管理恵と申します。

通勤手段が替わったことで約10年ぶりに自転車に乗ったところ、顔面からコンクリートの地面に転んでしまいました。自身の身体機能を過信しすぎないように気を付けつつ、まずは目の前のことを一つ一つ丁寧に取り組んで参ります。





開所日

アルモニーでは、3月20日、春分の日を開所日にし、花の家ホールでアルモニースポーツフェスティバルを行いました。31名のご利用者に参加していただき、とても盛り上がりました。職員も参加し、4チームに分けチーム戦で競技を行いました。競技種目は、ボール運び競争、パン食い競争、ドッジボール、ボッチャを行いました。

ボール運び競争は、ボールをおたまに乗せ落とさないようにコースを走り、次の人にバトンパスをし、皆さん真剣に走っていて白熱したレースとなりました。

パン食い競争は、手を使わずに口だけでマドレーヌを引っ張って取るルールでしたが、上手に取ることが出来ず、思わず手を使ってしまうご利用者もいましたが、首を傾け器用に取り組むことが出来ていました。マドレーヌはお昼においしくいただきました。

ドッジボールは、最初の方はなかなか上手に投げることが出来ていませんでしたが、時間が経ち慣れてくると鋭いボールを投げ、キャッチすることが出来ていました。また、集団を苦手に行っているご利用者も輪に入り、先頭に立って競技に参加し、上手にボールを扱っていました。

ボッチャは、的のボールピットにボールを投げられるご利用者が多かったことにびっくりしました。アルモニーのご利用者を選抜してチームを作り大会に参加するのもありなのでは、と思ってしまうほどでした。

パラバルーンやマット運動なども行い、閉会式後は「とても楽しかったです」「優勝できてうれしいです」「またやりたいです」等の声が多く、楽しんでいただけて良かったです。

普段はお仕事を頑張っているご利用者の皆さんが競技を通して一段とボワ・アルモニーのチーム力が高まったのではないのでしょうか。

今後にご利用者に楽しんでいただけるような企画を計画していきたいと思います。（木村 一太）



お花見に行ってきました



新年度が始まりもうすぐ一か月が経とうとしています。新年度は雨からのスタート。

アルモニー（生活介護）ではお花見外出を予定していました。「明日はお花見外出ですね！」と楽しみにしていた皆さん。雨続きで心配でしたが、お花見当日は久々の晴天。満開の桜がとてもきれいでお花見日和。ご利用者はというと…お小遣いを持って行ったので「飲み物買おうよ、自動販売機どこ？」と桜より飲み物選別に夢中…やはり「花より団子」ですね。

飲み物を買って桜を見ながら散歩を楽しみました。公園内の橋の上からスカイツリーも見えて久々の晴れと、満開の桜を満喫してきました。遠～くに見えるスカイツリーを「どれ～？」「あれ？わかんない～！」と夢中で探しました。

生活介護ではレクの日を月2回ほど設定する予定です。仕事の合間に行事を楽しみリフレッシュしながら日々の作業も頑張っていきましょう！

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。（桐生 絵里）



児童支援部

ボワ・コンサル

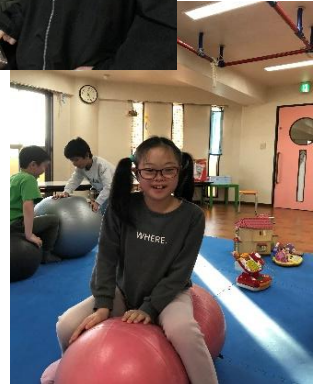
ご入学、ご進級おめでとうございます。新しいメンバーも加わり、新年度がスタートしました。今年度、コンサルでは小学1年生から中学2年生までが過ごします。

3月の下校時間が早い日や春休み期間には麻溝公園や小山田緑地公園などの公園に出掛けました。滑り台やブランコ、アスレチックなどの遊具で元気に体を動かして遊びました。少し難しく感じる遊具にも果敢にチャレンジする様子がみられました。

室内では思い出制作のカレンダーなどの工作に取り組みました。カレンダーに貼る写真を見て「ここ行ったね!」と思い出を振り返る子もいれば、写真やシールをどのように貼ろうかレイアウトをよく考え悩みながら取り組む子もいました。どの子も素敵な作品を完成させていました。完成すると「家に帰ったら飾る!」と楽しみにしている子もいました。ご家族の皆様からも、「早速飾りました!」など嬉しいご報告をいただき、ありがとうございました。

遊びや活動を通して「楽しかった!」「できた!」と思える経験がたくさんできるように努めていきたいと思います。今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

(渡邊千春)



ボワ・エール

今年の春は夏日になったり桜が開花してから寒くなったりと気温の上げ下げが大きく、体調を整えるのが難しかったですね。

ボワ・エールでは、毎年3月に高等部の卒業生を送り出し、4月にコンサルからの移籍児童を迎え入れています。昨年度末で高等部を卒業しエールから飛び立った児童は13名でした。3月の最終週には「卒業生を送る会」を行い、小さい頃からの写真入りのスライドショーを見て、記念品の贈呈を行いました。

皆さん、新しい場所でも頑張ってください!! 同じ法人内や周辺の事業所に入所された方もいらっしゃるのでは、お会いする機会がありましたら、ぜひお声がけください!

今年の尾根緑道の桜は3月末～4月初旬が見頃で、ちょうど春休みの期間と重なりました。あいにくの天気で散歩に出られない日が続いたりもしましたが、桜吹雪の中を散歩したりと、いつもと少し違う尾根緑道の雰囲気も味わうことができました。

新年度になり卒業生が抜け、エールの顔ぶれも少し変わりました。これからも元気な皆さんと楽しくそして安心安全な時間を過ごしていけるように努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。(上田哲明)



いつ衣替えすればいいのかしら～と天気予報とにらめっこしている間に桜が咲き、寒かった冬から解放されると同時に行きたいところ、やりたい事で話が盛り上がっています。

グループホームで過すご利用者は、日々替わる職員とお互いの感性や個性に刺激を受けながらコミュニケーションを楽しんでいます。毎日お風呂の順番を相談したり譲ったり、食後のデザートサプライズで笑顔になることも、悲しいニュースで涙することもあります。新年度は心がざわざわすることもあります。

そんな毎日をご利用者と共に過ごしている夜勤・朝番・遅番をスポットで担当する職員に「今思うこと」を聞いてみましたので紹介したいと思います。

- ★ご利用者と心の距離が近づいてきて週1回の夜勤が楽しい。
- ★気持ち良く過ごせるホームづくりの力になりたい。
- ★前職の経験を活かしつつご利用者をもっと知り、より良く過ごせるよう努めたい。
- ★日々学びながら頼られる人材になりたい。
- ★無事に終わった夜勤明けの缶酎ハイが楽しみ。
- ★力不足を感じるが仕事に行く、皆に会えるのは楽しみ。
- ★初めての職種だけれど安心して任せてもらえるようになりたい。
- ★ご利用者と職員が仲良く和気あいあいとした雰囲気でも自分も楽しくなる。
- ★食事の配膳や共有部分のお掃除を通じて関わっていることにやりがいを感じている。
- ★楽なお仕事ではありませんが、時に職員に励まされながら頑張っています。
- ★ご利用者と好きな歌手が同じで喜び合えてうれしい。
- ★「ありがとう」の言葉をいただきとてもうれしくなります。

などなど・・・。

全部紹介できませんが、スポットだから～ パートだから～ と消極的な方はいませんでした。逆にその日、その時をご利用者に全集中で向き合い寄り添ってくださる方ばかりで…このご縁に感謝です。

多様な働き方と安定した働き方がバランスよく作用することで365日開所はもちろん、ご利用者とのレクリエーション活動がより一層充実することを目指し～今年度はご利用者24名+パート職員22名+正規職員11名でスタートします。

(柿崎 裕子)





ボワ・すみれ福祉社会後援会



❗改めまして❗ボワ・すみれ福祉社会後援会です❗



後援会は、花の家の保護者が中心になって結成した「支える会」から始まりました。

この活動は、地域の篤志家の方々が会長・副会長職を務めてくださり、たくさんの方に支えていただきながら27年が経ちます。

その間、花の家だけの時代から、花の郷ができ、ボワ・アルモニー町田、働けバンク空(現クッカ広場)が加わり、今では4つの通所施設の保護者が役員として参加し、年間を通して活動をしています。

主な活動は、会員募集、クッカ広場売店での手作り品やふきん販売、MRCさんのご協力による野菜販売、夏と冬のそうめんやちゃんぽんの販売、イベント参加や研修会などです。

皆様のご協力で集まった収益は、法人の将来構想に協力するための未来基金への積立や、各事業所への寄付に役立てています。

昨今、保護者が主体的に後援会活動をする通所施設は少なくなり、役員のなり手がいないという悩みをよく聞きます。また、後援会を解散するところもあるようです。

そんな時代に逆らっているように見えるでしょうが、私たち後援会事務局は、福祉予算がどんどん削られ、現場の職員さん方にかかる負担がどんどん大きくなっている現状を目の当たりにし、また、自分たちではなかなか声をあげることが難しいご利用者の方々に少しでも充実した生活を送ってほしいと、小さな力かもしれませんが、今日もバタバタあたふたしながら、がんばっています。

どうぞ、皆様には、後援会会員、物品購入 etc,無理のないところからご協力いただき、是非、周りの方々にもボワ・すみれ福祉社会後援会を応援してくださるようご紹介くださいますようお願い申し上げます。

(後援会事務局 赤松・宮島・井上)

募集中!

会員を募集しております



発行 社会福祉法人ボワ・すみれ福祉社会 理事長 田部井 眞

東京都町田市下小山田町 3267-2

TEL : 042-797-6044(代) / FAX : 042-797-4824

E-mail : hananoie@poem.ocn.ne.jp

<https://bowasumire.jp/>

